

休業ヲ宣せしテ造船部及造船部製鐵工場職工約千五
 百名ハ退場途中四列縦隊トナリ掃部山ニ向ケテ出立直視
 其ヲ遂カレトスル氣配アリ所轄四番ハ改田組合顧問ヨリ既
 居外集會会場の許サカル上ヨリ論シタルニ庄中幹部等之等議
 本部ニ引揚ケタリ時ニ十五軒ヲ長ハ入場狹隘ナレハ軒
 部及一工場ヨリ五六人迄送定シ運送方針ニ因テ協議
 會ヲ開キテ如何ト提議シテ至員等之議ナク代表者ヲ選
 ビテ教會云セリ

代表職工等約百名ハ同所ニ居残り協議會ヲ開キ其ノ決議ヲ居
 午後七時散會セリ

(一) 持久準備資金金トシテ職工一名ヨリ一円五丁未定職出セシ
 尚友愛會本部ノ名義ニテ同所方面ハ職金基金自示ノ計劃
 ヲ為シ一面日本海軍部ニテ毛物監的援助ヲ爲スハ各隊船

乗組員ニ對シ交渉スルコト

- (一) 今午議所ニ日本ヨリ其方二名若クハ三名宛交代之幹
 部ノ留守兼由ヲ置キ其事務ヲ執ルコト
- (二) 雜踏妨止ノ目的トナリトテ左ノ條目ヲ設ケタリ
 - 一 会場其他係 丁名 (其隊音ナラ所ス)
 - 二 出勤簿係 百名 (白脈音ナラ所ス)
 - 三 傳令係 五十名 (其隊音ナラ所ス)
 - 四 議決機關トシテ見ルハ其最高幹部部
- (三) 小林康十郎外五十名ヲ選定シ之徵音ナラ所セズ
- (四) 其他明由ヨリ演說會開催ノ爲会場交渉ノコト
 進テ日本海軍支部前ニ向テ空木綿大巾約二丈ニ横長
 船匠等ヲ議團休本部トテ大書セル看板ヲ掲出セリ

(九月廿七)